



令和4年11月
NO. 160



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

方面隊・師団統制演習場秋季整備

～各隊員の力を結集して整備任務完遂～

各種行事・訓練

方面隊・師団統制演習場秋季整備
令和4年度原子力総合防災訓練
令和4年度師団格闘集合訓練
持続走競技会
師団集合教育「レンジャー」
16式機動戦闘車集合訓練
福知山駐屯地創立72周年記念行事
姫路駐屯地創立71周年記念行事



第3師団隊員紹介コーナー

師団戦士
我が部隊の新戦力
一隅を照らす
社会の一員として



みんなの架け橋

自衛隊和歌山地方協力本部

職場の豆知識

「滑らない」

表紙写真：方面隊統制演習場秋季整備
(安全杭を塗装する隊員)



各隊員の力を結集して整備任務完遂



編成完結式 整備隊長（第3師団長）に敬礼（あいば野演習場）

師団は、あいば野演習場（滋賀県）において、方面隊統制演習場（秋季整備を担任するとともに、長田野演習場（京都府）及び青野ヶ原演習場（兵庫県）において、師団統制演習場秋季整備を実施した。本演習場整備は、訓練基盤の維持、拡充を図るとともに、演習場の長期安定使用に寄与することを目的に実施した。

各部隊は、「機能維持」「機能回復」「機能向上」の3つの視点で演習場の整備を行い、各隊員の力を結集し、無事に整備任務を完遂して、実地的な訓練を実施するための基盤を整えた。



溜樹の整備（第37普通科連隊）



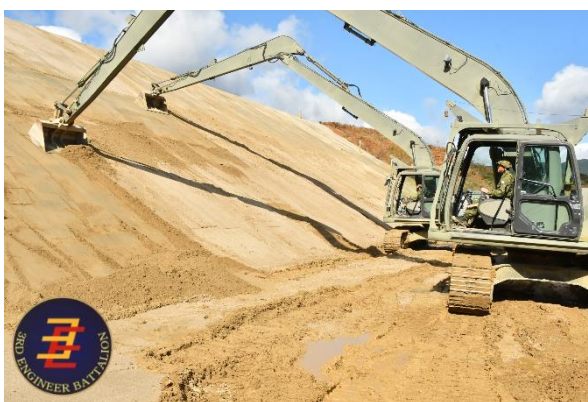
草刈り機の整備（第3後方支援連隊）



幹線道路の整備（第3戦車大隊）



暗きよの設置（第3高射特科大隊）



停弾提の整備（第3施設大隊）



戦車射場のフラット化（第3施設大隊）



進捗状況等の掌握（第3通信大隊）



幹線道路の整備（第3偵察隊）



道路上の泥の除去（第3特殊武器防護隊）



炊事（第3師団司令部付隊）



伐採木の運搬：長田野演習場（第7普通科連隊）



幹線道路の整備：青野ヶ原演習場（第36普通科連隊）



関係機関と調整する防衛幹部



3師団と10師団との調整



全体会議の様子（福井県美浜市原子力防災センター）

師団は、令和4年11月上旬、内閣府が主催する「令和4年度原子力総合防災訓練」に参加し、防災関係機関等との連携の強化及び対処能力の向上を図った。福井県嶺南を震源地とした地震が発生、運転中の美浜発電所3号機が緊急停止した状況で訓練を開始。地震災害及び原子力災害の複合災害を想定し、隣接する第10師団と協同して迅速な初動対処態勢を確立するとともに、中央と現地組織の連携による防護措置の実施等に係る意思決定及び県内外への住民避難等を演練した。



不整地での近接戦闘



敵の制圧



練度判定を受検する隊員

師団は、第7普通科連隊（連隊長 前野1佐）を訓練担任部隊として、令和4年11月21日（月）から令和4年度師団格闘集合訓練を開始した。本集合訓練は、各部隊の格闘優技者に対して、指導者としての能力を向上させ、部隊の格闘指導官を育成する目的で実施中である。参加隊員は、格闘技術のみならず訓練時の安全管理も含め、部隊格闘指導官として必要な知識、技術の修得に励み、訓練最終段階において認定試験（技術運用、指導法等）に臨んでいる。



傷病者の担架搬送（第3施設大隊）



沿道の声援を受け力走（第3後方支援連隊）



低鉄条網障害の通過（第3施設大隊）



混戦のゴール前（第3後方支援連隊）

第3後方支援連隊（千僧）及び第3施設大隊（大久保）は、11月中旬、それぞれの駐屯地において、武装走競技会を実施した。本競技会は、各隊員の戦技能力の向上及び部隊の団結の強化を図ることを目的として行われた。第3後方支援連隊は、個人走により、個人のタイム及び部隊ごとの平均タイムで競い合うとともに、第3施設大隊は、個人走及び断走（チーム走）によるタイムによって競い合った。参加隊員は、個人の名誉と部隊の威信をかけ、自身の限界に挑戦し、白熱した戦いを繰り広げた。

原子力災害の初動対処能力を向上

指導官としての心・技・体を練磨

己に打ち勝ち駆け抜ける



パディと連携して携行品の準備



訓練開始式

第36普通科連隊（連隊長 三島1佐）は、令和4年9月から師団集合教育「レンジャー」を実施中である。基礎訓練、体力調整（体力向上運動）や各種潜入訓練を終えたレンジャー教育は、いよいよ厳しい行動訓練へと移行していく。

訓練も最終局面を迎え、学生長の磯田3曹は「不撓不屈の精神で任務の遂行だけを考え、第4期師団レンジャー戦闘隊として全ての任務を完遂し、ここ伊丹の地に必ず帰ってきます」と意気込みを語った。

レンジャー学生は、今後待ち受けるいくつもの試験を乗り越え、輝くレンジャーキ章を身に付けることを目標に力強く歩みを進め続ける。



戦闘隊を牽引する学生長の磯田3曹



操縦席からの死角の確認



MCVの概要説明



車両感覚の把握

第3戦車大隊（隊長 足立2佐）は、今年度末の第3偵察戦闘大隊への新編を控えており、11月初旬から、第15即応機動連隊が実施する16式機動戦闘車（MCV）集合訓練に参加中である。訓練は、MCVの概要説明、車体、砲塔、整備等の基礎的知識を身に付けるほか、演習場を活用し、各種地形に応じた昼夜間の操縦、MCVの射撃要領について演練し、MCV基幹要員としての知識と技能を修得する。

MCVの知識と技能を修得

姫路駐屯地 ～伝統の継承～



観閲式



訓練展示



太鼓演奏

姫路駐屯地（司令 小松1佐）は11月27日（日）、「姫路駐屯地創立71周年記念行事」を開催した。記念行事では、観閲式、訓練展示、太鼓演奏、格闘展示、装備品展示、マッachコンテストなどが行われ、訓練展示では第3特科隊が保有する155mm榴弾砲の轟音が響きわたり、来場者を圧倒するなど部隊の威容を示した。一般の来場者からは「訓練展示の迫力がすごくてカッコ良かったです」「来年も無事に一般開放されるのを楽しみにしています」等の声が聞かれ、記念行事は盛会のうちに終了した。

福知山駐屯地 ～これからも地域とともに～



市中パレード



訓練展示



74式戦車体験試乗

福知山駐屯地（司令 前野1佐）は11月26日（土）及び27日（日）の2日間、「福知山駐屯地創立72周年記念行事」を開催した。前日行事として福知山市内において4年振りとなる市中パレードを行い、沿道に集まった地元の方から盛大な拍手が沸き起こった。記念行事当日は観閲式、訓練展示、装備品展示、音楽演奏、子供広場、野外売店などが行われた。一般の来場者からは「待ちに待った開催でとても嬉しいです」「福知山駐屯地の訓練展示はレベルが高くとても迫力がありました」等の声が聞かれ、記念行事は盛会のうちに終了した。

師団戦士

「感謝」



第36普通科連隊第3中隊
3等陸曹 仮屋 航太郎



第36普通科連隊第3中隊に所属する仮屋航太郎(かりや こうたろう)3曹へのインタビューです。

出身地、陸曹候補生課程入校時期は。

A 大阪府大阪市出身、第138期陸曹候補生課程、令和2年1月入校です。

合格通知を受けた時の心境は。

A 嬉しい気持ちとともに、陸曹になって部隊に貢献したいと思いました。

【陸曹教育隊入校間について】

特に印象に残っている訓練は。

A 初級陸曹特技課程における総合訓練です。学生が自ら訓練編成を決定し、訓練に臨み、任務を完遂できたことがとても嬉しく、印象に残っています。

特に苦勞したことは。

A 陸曹の立場で、常に状況判断して行動しなければならぬことです。

その中で特に学んだことは。

A 小部隊の指揮官になるための資質です。陸曹になっての心境の変化は。

A 若手陸曹として、後輩隊員の模範となり、陸士が目指したいと思える陸曹になるんだ、と意識するようになりました。

今後の部隊での目標は。

A 自ら進んで様々な訓練に挑戦し、学んだことを後輩隊員に普及できるように、がんばります。

陸曹を目指す後輩隊員に一言

A 支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れず、共にがんばっていきましょう。

我が部隊の新戦力

「3音の新星」



第3音楽隊
陸士長 伊川 知希



第3音楽隊に所属する伊川知希(いかわ ちひろ)士長へのインタビューです。

入隊の動機は。

A 自分の好きな音楽で誰かの力になったかったからです。

担当パートとその楽器の魅力は。

A クラリネットを担当しています。木で出来た楽器特有の温かい音色が魅力です。

新隊員教育での思い出は。

A 映画「アナと雪の女王」の主題歌のPVを完コピして披露したことです。みんな涙が出るほど笑ってくれました(笑)。

現職務のやりがいは。

A 訓練を頑張るほど、演奏技術が向上し、より良い音楽が届けられ、来場者からたくさん拍手が聞けることです。

現職務で苦勞していることは。

A 個人技能の向上です。少ない時間の中で能力向上につなげられる練習メニューを考えるのに四苦八苦しています。

尊敬(目指している)している先輩は。

A 同じ音楽隊の金子2曹です。誰も気付かない私の癖などを見抜いた上で指導してくださり、その洞察力が本当に凄いなというも思っています。

今後の目標は。

A クラリネット、ピアノ、歌、司会等、マルチに活躍していきます。

最後に一言

A 音楽隊員としての自覚をより一層強く持ち、日々前進していきます。熱心の美味い季節になってきましたね。おすすめの日本酒とビールがあればぜひ教えて下さい。

一陽を照らす

「志高く!!」



第3師団司令部付隊
3等陸曹 大下 智啓



第3師団司令部付隊管理小隊に所属する大下智啓(おおした ともひろ)3等陸曹を紹介します。

大下3曹は、平成28年に入隊、令和3年1月、3等陸曹へ昇任し、令和4年8月に第3師団司令部付隊に配置され、現在は管理小隊で部隊補給陸曹(地図・出版物係)として勤務しています。初めての係陸曹勤務ですが、諸先輩方からの助言を受けつつ、業務にまい進しています。

大下3曹に現在の心境を聞くと「係陸曹として不安なところもありますが、規則や物品の流れについて習熟し、1日でも早く部隊の戦力になれるよう積極性と正確性をもって迅速に業務をこなしていきたい」と熱く語ってくれました。

そんな熱血漢の大下3曹ですが、プライベートは、「筋トレ」と「水泳」に夢中です。特に、筋力トレーニングは自ら週間メニューを作成し、週5回筋肉をいじめ(笑)、いや喜ばせ、また、東大阪市から河内長野市までの往復約63kmをクロスバイクで滑走しており、筋肉が完成次第「トライアスロン」にも挑戦してみたいとほのめかしています。

引き続き、公私ともに充実し、持ち前の明るさと筋肉を活かして多くの経験を積み、陸上自衛隊のために精励努力し、明るく輝く隊員になることを期待しています。



休み時間の筋トレ

社会の一員として

「自分に合った職業を」



元第37普通科連隊第1中隊
亀本 寛 さん



元第37普通科連隊第1中隊に所属していた亀本寛(かめもと ひろし)さんへのインタビューです。亀本さんは、迫撃砲小隊陸曹、曹士業務陸曹を経て、令和4年6月、自衛隊を定年退官後、株式会社慶信でダンブカーの運転手として勤務しています。

入隊時期は。

A 昭和61年3月入隊(曹候補79期)です。

自衛官時代で印象に残っていることは。

A 同僚と苦楽を共にした演習場での訓練や検閲等が印象に残っています。

自衛隊経験が役に立っていることは。

A 資格・免許を取得できたことです。ダンブカーの運転は、自衛官時代の運転経験が活かされています。また、年齢や性別問わず誰でも良好な関係を維持する力が身に付きました。

現職業のやりがいは。

A 元々運転や、整備等をするのが好きだったので、それが仕事となり毎日が充実しています。疲れることもありましたが、自分に合った職業に就けたことに感謝をしていますとともに、好きな業種で給料が貰えることにやりがいを感じます。

現役隊員に向け一言お願いします。

A 自分の目標や夢に近い職業を見つけてください。また、人との会話や挨拶は人を育てると感じました。今の内から確行してください。



入隊同期と写真本人(左)

